

日刊建設工業新聞（2016年9月2日付3面掲載）
【オリコンサルが設計 高知に津波避難シェルター完成】

高知に津波避難
 シェルター完成
 オリコンサルが設計



オリエンタルコンサル
 タンツが設計した国内初
 の「津波避難シェルター」
 が高知県室戸市佐喜浜町
 都呂地区に完成した。南
 海トラフ地震による津波
 被害を想定し、高知県が
 計画。オリエンタルコン
 サルタンツが実現性を検
 討する技術検討業務と調
 査・測量、実施設計業務
 を担当した。施工はミタ
 ニ建設工業・誠興建設が
 担当し14年12月から工
 事を進めていた。総事業

費は約3億5000万
 円。

8月25日に行われた落
 成式には小松幹侍室戸市
 長らが出席し、完成を祝
 った。写真。

シェルターは、都呂地
 区の家屋裏の崖地をくり
 ぬいたトンネル（高さ3
 ・5㍎、幅3㍎、長さ33
 ㍎）と、らせん階段付き
 立坑（直径2・5㍎、高
 さ24㍎）で構成する。ト
 ンネル部に二重の止水扉
 を設け、最大71人を収容
 できる。避難者は立坑の
 らせん階段を上がると崖
 の上に出られる。崖上に

は設備用の電源・動力と
 立坑出口を格納する建屋
 を配置している。

同地区は、南海トラフ
 地震時に10㍎の津波高が
 想定され、高知県が自力
 で高台に上るのが困難な
 高齢者でも避難しやすい
 シェルターの建設を計画
 した。オリエンタルコン

サルタンツは計画当初か
 ら津波避難シェルターの
 実現性を検討する業務を

受託し、地震発生時や津
 波到達時の構造信頼性、
 避難時のシェルター内環
 境、避難誘導性を検証。
 課題を抽出し、対策を講
 じた。